

# Sunrise Foursquare Church – August 2016

2014年に上映された「Left behind レフトビハインド 取り残される」の映画を作って世界中のクリスチャンを震い上がらせた。この映画は新約聖書マタイ伝の24章、黙示録の、終末論、大艱難、軽拳などを舞台にして製作されたものでキリストの再臨の際の人類の突然の喪失、人間の慌て様を目の当たりにしているような怖いアクションムービーである。この映画制作者のテムラヘイ師が最近90歳で亡く成られた。

テム先生は牧師であり、心理学者であられた。30年程前、サマーキャンプでヒュームレイクへ行った時、ラヘイ師に出会い語り合った事が在る。その時一番感動した事は、「自分は非常に短気で怒りっぽくどうしようもなかったが、怒りから解放され、自由になった事だ」とおっしゃられた。あの頃の先生は額が少々とび出し両眉が濃く、険しく牧師さんらしいイメージ（柔和で物腰柔らかく、包み込むような雰囲気）は全くなく背広を脱げばギャングかヤクザにでも間違われそうな顔つきであられた。

奥さんのベウさんもテム師も両方とも主に献身した素晴らしいクリスチャンで教会は順調に成長して行ったが、子供が増え色々なプレッシャーが家庭内で爆発し出して来た。破滅寸前であっても、離婚すると牧師として迎えてくれる教会がないので2人で怒りをぶち明け暮れても教会では善い牧師のふりをしていた。そんなある日、ふたりの生活が一変する経験をされる。其れはベウさんがお友達に誘われある聖会に出席した所、テーマは「いかにすれば聖霊に満たされるか」でした。ベウさんは直ぐに御主人のラヘイ師に連絡し集会に出席するよう誘うと渋々不平タラタラ、ブツブツいいながら来てくれた。

彼はヘンリー博士が『怒り』について語られるのを聴いていて；『胆汁質気質の牧師が怒りにコントロールされ、出血性の潰瘍に成った事を言及された時、其れは自分の事だと悟り、今迄の自分が短気で利己主義で偽善者であった事を悔い改め、生まれて初めて御夫妻とも聖霊に満たされた。聖霊は二人の結婚生活、家族、牧会活動をすっかり変えてくださった。2人の頑固さ、怒り、恐怖は、聖霊に支配されると、愛、喜び、平安に取って変えられたのです。

それから、ある日ベネヒーンの本生誕日のゲストスピーカーがあテムラヘイ先生であった。顔つきがニコニコとまるやかに成られ、つやつやと輝いておられた。

## お知らせ

\* 来年度（2017年）の聖句入カレンダー（春子牧師のアート作品）が出来上がりました。ドネーション\$10+\$2（切手代）主の祝福が与えられますよう祈っております。

\* 9月25日（日）午前10時より20周年記念礼拝があります。ゲストスピーカーは岩田牧師夫妻と共にサンライズ教会とCITS神学校を建て上げて来たフィリップ ワング博士御夫妻です。ランチの準備がありますのでお早めにご連絡ください。

サンライズ教会牧師 岩田春子